

第7章 熊野前駅周辺地区

1 熊野前駅周辺地区バリアフリー基本構想

(1) 基本情報

- 地区名：熊野前駅周辺地区
- 面積：91.8ha
- 範囲：東尾久3,5～8丁目
- 策定年度：平成25年度
- 人口：14,787人 高齢者人口：3,475人
- 世帯数：7,860世帯
- 生活関連施設：尾久区民事務所、尾久区民事務所ひろば館、宮の前ひろば館、東尾久ひろば館、東尾久三丁目ひろば館、荒川年金事務所、アクト21（男女平等推進センター・熊野前ひろば館）、熊野前駅（日暮里・舎人ライナー）宮ノ前（都電荒川線）、熊野前（都電荒川線）、東尾久三丁目（都電荒川線）、東京首都大学荒川キャンパス、ライフ東尾久店、オリンピック熊野前店

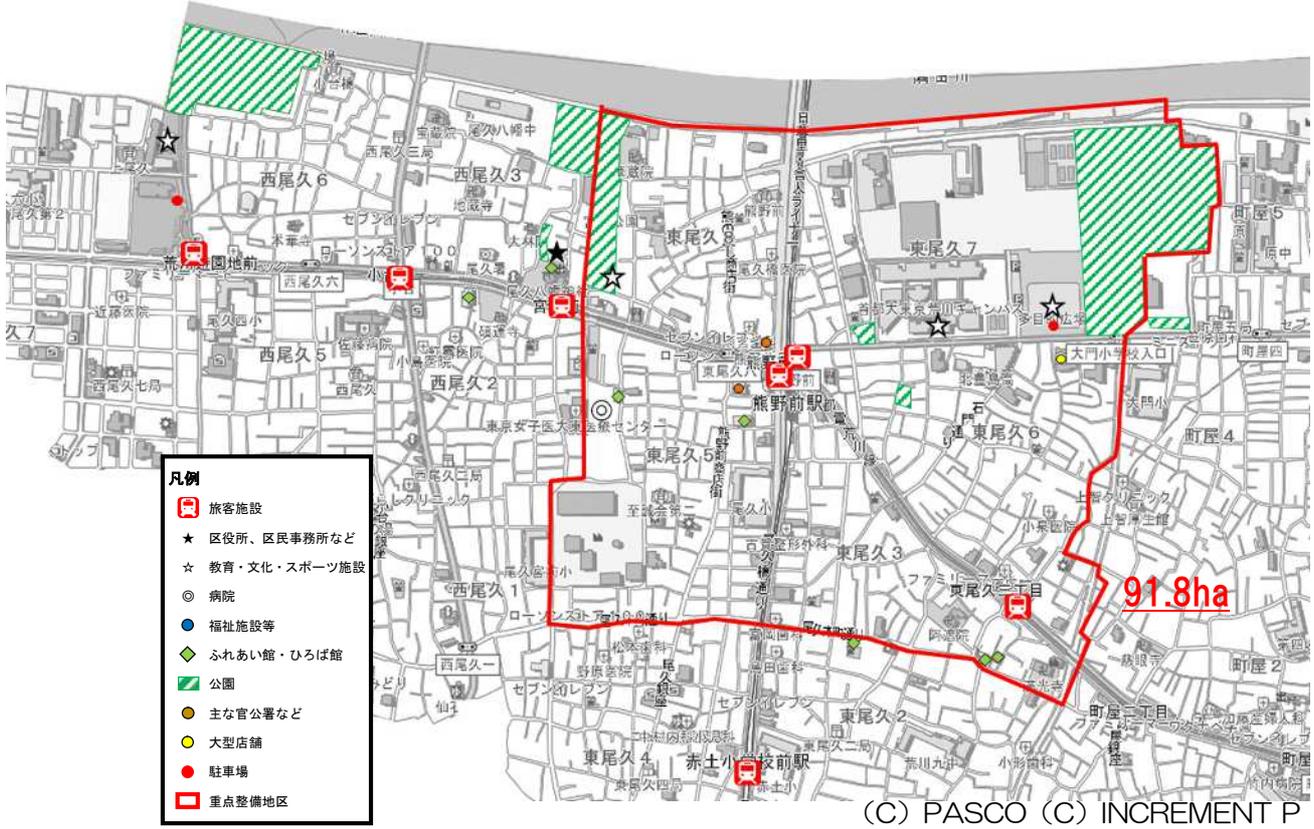


図 7-1 熊野前駅周辺地区位置図

(2) 地区の整備方針

熊野前駅周辺地区では、平成 25 年度に基本構想を策定し、以下のような整備方針を掲げてバリアフリーの取組を進めてきました。

I 地区の基本的指針

- 区民の外出機会を促進し健康増進にもつなげるために、都電やコミュニティバス等の新旧交通手段を活用し、地区内の病院、公園、大学、商店街等を連絡するとともに、ソフト・ハードによる適切な情報提供を行います。
- これまでに地区別構想を策定した重点整備地区の成果を踏まえ、ソフト面の取組や多様な利用者のバリアフリーに対する“気付き”を高めるための「心のバリアフリー」を推進します。
- 施設の更新・再整備やハードを補完するソフト対策における住民参加を促進するとともに、継続した住民参加の取組を区全体に展開することを目指します。

II 事業別整備方針

① 公共交通

鉄道駅については、熊野前駅（日暮里・舎人ライナー）はエレベーター、多目的トイレの設置等、駅構内の主なバリアフリー化は完了しているものの、利用の観点からは改善すべき箇所が残っています。今後は、案内サインの改善等、利用者の意見を反映したバリアフリー整備を行います。

軌道停留場については、熊野前・宮ノ前・東尾久三丁目（都電荒川線）は、バリアフリー化のためのスペースの確保が困難であることから、今後の道路整備や設備改修に併せて、利用者の意見を反映したバリアフリー化の検討を行います。

バス事業については、施設の適正な維持管理を進め、利用者の快適性向上を図ります。

② 道路

地区内の道路については、細街路が多くバリアフリー化のためのスペース確保が困難であることから、今後の道路整備等に併せて、移動円滑化基準に適合した構造に改修していくとともに、当面は、案内サイン等により歩行者・自転車・自動車の適正な分離を行います。

また、歩道上の私的占有物(商品の陳列等)に対する指導・取締りを継続的に実施していくとともに、東京都、荒川区、警察が連携して違法駐輪に対する取締りや自転車利用マナーの向上に取り組み、歩行空間を確保します。

③ 都市公園

不特定多数の人が利用する都市公園については、トイレの改善や適正な維持管理により、誰もが安心して利用できる公園の整備を行っていきます。

④ 建築物

アクト21、病院、民間商業施設等、生活関連施設に位置付けられた建築物を中心に高齢者、障がい者、妊産婦や乳児同伴者等が安全・快適に利用できるように移動等円滑化に努めていきます。

⑤ 交通安全

信号のサイクル長の改善については、周辺道路への影響を考慮しながら、可能な限り対応していきます。

⑥ その他の事項

自転車走行マナーや違法駐輪に対しては、当事者に対する指導・取締りを強化します。また、警察や交通安全協会と連携し、学生を対象とした講習会等の啓発活動により、自転車利用者のルール・マナー遵守意識の向上を図ります。

2 進捗状況と評価

(1) 進捗状況

熊野前駅周辺地区

	事業数	継続事業数	大規模事業数	評価対象事業数			進捗率
				完了事業数	未完了事業数		
公共交通特定事業	7	1	4	2	2	0	100%
道路特定事業	16	3	11	2	2	0	100%
都市公園特定事業	16	2	5	9	8	1	89%
交通安全特定事業	4	2	0	2	2	0	100%
建築物特定事業	14	0	2	12	10	2	83%
合計	57	8	22	27	24	3	89%

表 7-1 令和元年度時点の地区別進捗率

熊野前駅周辺地区では、重点整備地区基本構想において、57 の特定事業を設定しました。このうち、ソフト対策等の継続事業と大規模工事を伴う長期事業を除いた 27 事業の 89%にあたる 24 事業が令和元年度までに完了しています。

公共交通特定事業では、利用の観点から改善すべき課題として、熊野前駅の手すりへの点字サイン設置や階段に明度差をつける塗装が行われました。

道路特定事業では、旭電化通りの歩道の部分改修工事が行われ、そのほか都市公園特定事業では尾久小公園の全面改修等が行われ、建築物特定事業において、視覚障がい者誘導用ブロックを設置する取組が公共施設、民間施設それぞれで行われました。また、交通安全特定事業では、交通事故防止と交通安全意識の向上を目指した取組のほか、都電軌道でエスコートゾーンが途切れていた箇所を事業者間の連携により、新たに設置する取組が行われました。

この地区は、短い期間ながらも進捗率が高く、特定事業に着実に進んでいることが言えます。事業者間の連携や民間事業者におけるバリアフリーの理解が進んでいることが伺えます。

(2) 主な特定事業の評価

事業	事業者	主な項目	概要	取組状況	評価
公共交通特定事業	東京都交通局	日暮里・舎人ライナー熊野前駅通路	視覚障がい者向けの案内の充実	平成 26 年度、手摺に点字サインを設置 	◎
		日暮里・舎人ライナー熊野前駅階段	注意喚起	平成 28 年度、段鼻の塗装実施	◎

道路 特定事業	東京都 第六建設 事務所	尾久橋通り	点字ブロッ クの設置	生活関連経路の区 間に、点字ブロッ クの設置を実施		◎
	荒川区	旭電化通り	歩道の平坦 性確保	平成 28 年度、応急維持工事で補修を実 施		◎
都市公園 特定事業	荒川区	原公園 通路	段差への 対応	検討の結果、段差に手摺や柵等を設置す ると公園本体の利用制限が生じるため、 平成 27 年度、段 差の部分が認識 しやすい舗装に 改修した		◎
		原公園 トイレ	案内の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣公園のトイレの利用案内を掲示。 ・ 近隣のバリアフリートイレの位置が分 かるよう子育て支援課と協力し、区内 トイレマップを作成し、これを「あら かわ子育てマップ」やHPで公開して いる。 ・ 全公園内にQRコード設置し、携帯や スマホでHPにアクセスしやすい環境 を整えた。 		◎
		尾久小公園 出入口	バリアフリ ー対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 25 年度、入口改修を実施 ・ 令和元年度、拡張工事に合わせ全面改 修を実施 		◎
		尾久小公園 園路	園路のバリ アフリー化	令和元年度、拡張工事に合わせ実施		◎
		尾久小公園 トイレ	視覚障がい 者への配慮	令和元年度、拡張工事に合わせ全面改修 において実施		◎
			男女別のブ ースの設置	令和元年度、拡張工事 に合わせ全面改修に おいて実施		◎
			段差の解消	令和元年度、拡張工事に合わせ全面改修 において実施		◎
		熊野前公園 トイレ	視覚障がい 者への配慮	令和元年度策定の荒川区公園・公衆トイ レ整備の方針に基づき改修を実施する		×
		尾久八幡公園	設備の改善	平成 25 年度、トイレ内にフックを設置		◎

交通安全 特定事業	尾久警察	熊野前交差点	エスコート ゾーンの 整備	令和元年度、都電荒 川線の軌道でエス コートゾーンが途 切れている箇所の 整備を実施		◎
		電停周辺交差 点	エスコート ゾーンの 整備	令和元年度、都電の電停にアクセスする 横断歩道のエスコートゾーンの整備を実 施	◎	
建築物 特定事業	荒川区	アクト21 通路	障害物の 除去	平成 26 年度、マガジンラックを移動し 手摺の連続性を確保	◎	
		アクト21 バリアフリー トイレ	手摺の改善	平成 29 年度、利用しやすい手摺に交換	◎	
			案内の充実	平成 26 年度、貼紙による案内を実施	◎	
			利用者マナ ーの啓発	平成 26 年度、注意喚起の貼紙を設置	◎	
		アクト21 案内	案内の充実	平成 29 年度、施設内の案内表示を分か りやすいものに変更	◎	
	アクト21 エレベーター	点字プロッ クの設置	平成 30 年度、エレベーター外まで点字 ブロックを設置	◎		
	ライフコ ーポー ション	ライフ東尾久 店 出入口	点字プロッ ク上の障害 物除去	点字ブロックを塞がないよう、日々の駐 輪状況の点検を実施	◎	
		ライフ東尾久 店 通路	有効幅員の 確保	主要な通路が商品で狭くならないように 配慮する	◎	
		ライフ東尾久 店 通路	点字プロッ クの設置	昇りエスカレーター入口に設置 屋外の点字ブロックについても改修予定	○	
		ライフ東尾久 店 案内	案内の充実	店舗改装・設備更新にあわせ実施予定	—	
東京女子 医科大学 東医療セ ンター	東京女子医科 大学東医療セ ンター 通路	見通しの悪 い箇所の改 善	平成 27 年度、見通しの悪い箇所に FF ミ ラーを設置	◎		
	東京女子医科 大学東医療セ ンター 案内	案内サイン の設置	平成 27 年度、車いす利用者にも見やす い位置に案内サインを設置	◎		

※評価 ◎：改善された

○：概ね改善された

△：改善に着手した

—：改善に向け検討中

3 今後の取組み

熊野前駅周辺地区においては、地区の基本的方針を継続するとともに、生活関連施設・生活関連経路の更新と特定事業計画の再設定によってバリアフリーのより一層の促進を目指します。

(1) 生活関連施設・生活関連経路の更新

熊野前駅周辺地区にはこれまで、熊野前駅（日暮里舎人ライナー）、宮ノ前（都電荒川線）等の主要駅やあらかわ遊園スポーツハウス、尾久の原公園、東京都立大学等の主要施設をはじめとした20の生活関連施設が分布していました。本基本構想においては、あらかわ遊園や東尾久本町通りふれあい館等の12施設を新たに生活関連施設として設定し、以下のとおり生活関連施設及び生活関連経路を更新しました。（表7-2、7-3）

〈生活関連施設一覧〉

No.	施設名称	No.	施設名称
	駅・都電停留場	17	尾久区民事務所ひろば館
1	熊野前駅（日暮里舎人ライナー）	18	宮の前ひろば館
2	赤土小学校前駅（日暮里舎人ライナー）	19	東尾久本町通りふれあい館
3	東尾久三丁目停留場（都電荒川線）	20	尾久ふれあい館
4	熊野前停留場（都電荒川線）	21	東尾久ひろば館
5	宮ノ前停留場（都電荒川線）	22	東尾久三丁目ひろば館
6	小台停留場（都電荒川線）		店舗
7	荒川遊園地前停留場（都電荒川線）	23	ライフ東尾久店
	区役所・区民事務所など		公園
8	尾久区民事務所	24	あらかわ遊園
	教育・文化施設	25	尾久小公園
9	尾久図書館	26	原公園
10	あらかわ遊園スポーツハウス	27	尾久の原公園
11	東尾久運動場	28	熊野前公園
12	東京都立大学荒川キャンパス	29	尾久八幡公園
	主な官公署など	30	宮前公園
13	荒川年金事務所		駐車場
14	熊野前郵便局	31	尾久の原公園運動場駐車場
	病院	32	荒川遊園地下駐車場
15	東京女子医科大学東医療センター		
	ふれあい館・ひろば館		
16	アクト 21（男女平等推進センター・熊野前ひろば館）		

表 7-2 生活関連施設

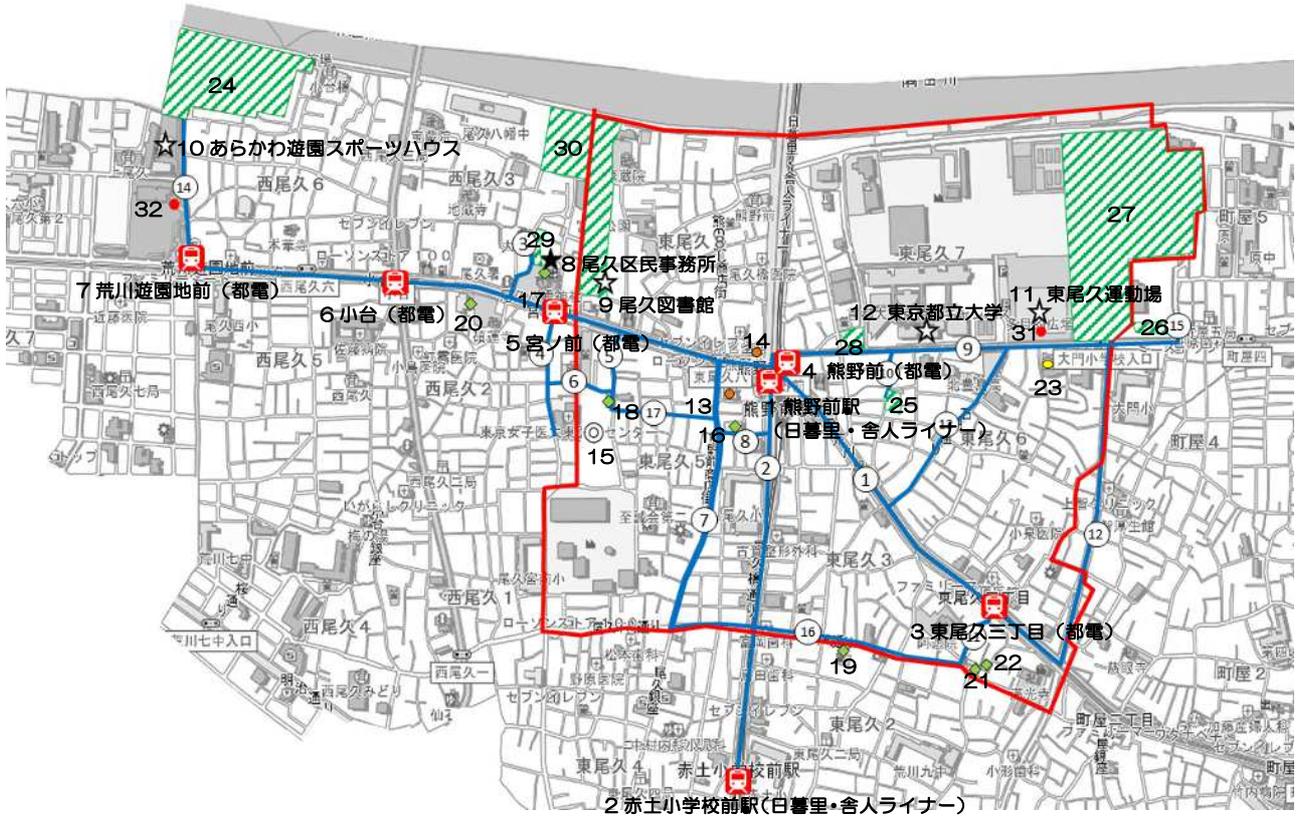
〈生活関連経路一覧〉

経路 番号	生活関連経路		事業者
	道路名称	区間【起点～終点】 (主な接続施設)	
①	補 90 号 (都電通り)	経路⑭ (荒川遊園通り)～経路⑫ (尾久の原防災通り) (荒川遊園地前停留場、小台停留場、宮ノ前停留場、熊野前停留場、東尾久三丁目停留場、熊野前駅、尾久ふれあい館、熊野前郵便局)	東京都
②	都放射 11 号 (尾久橋通り)	経路⑨ (旭電化通り)～赤土小学校前駅 (熊野前駅)	
③	区道第 638 号線	経路① (都電通り)～尾久八幡公園 (宮ノ前停留場、尾久区民事務所、尾久区民事務所ひろば館)	荒川区
④	区道荒 15 号線	経路① (都電通り)～東京女子医科大学東医療センター	
⑤	区道荒 16 号線	経路① (都電通り)～経路⑰	
⑥	管理通路 4-503	経路④～経路⑤ (東京女子医科大学東医療センター)	
⑦	区道荒 17 号線 (熊野前銀座通り)	経路① (都電通り)～経路⑯ (尾久本町通り) (荒川年金事務所、アクト 21)	
⑧	法定外通路	経路② (尾久橋通り)～経路⑦ (熊野前銀座通り) (アクト 21)	
⑨	区道荒 111 号線 (旭電化通り)	経路② (尾久橋通り)～経路⑮ (熊野前停留場、熊野前公園、東京都立大学、尾久の原公園、ライフ東尾久店、原公園)	
⑩	区道第 478 号線	経路⑨ (旭電化通り)～尾久小公園	
⑪	区道荒 26 号線	経路① (都電通り)～経路⑯ (尾久本町通り) (東尾久三丁目停留場)	
⑫	区道荒 284 号線 (尾久の原防災通り)	経路① (都電通り)～経路⑨ (旭電化通り)	
⑬	区道荒 24 号線 (石門通り)	経路① (都電通り)～経路⑨ (旭電化通り)	
⑭	区道荒 7 号線 (荒川遊園通り)	経路① (都電通り)～あらかわ遊園	
⑮	区道荒 280 号線	経路⑨ (旭電化通り)～原公園	
⑯	区道荒 32 号線 (尾久本町通り)	経路⑦ (熊野前銀座通り)～経路⑪ (東尾久本町通りふれあい館)	
⑰	区道第 530 号線	経路⑤～経路⑦ (熊野前銀座通り)	

表 7-3 生活関連経路

更新した熊野前駅周辺地区における生活関連施設及び生活関連経路は、下図のとおりです。

(図 7-2)



(C) PASCO (C) INCREMENT P

図 7-2 生活関連施設及び生活関連経路